

岸野文雄教授 略歴・著作目録

略 歴

- 1942年 4月 東京都に生まれる
- 1958年 4月 東京都立竹早高等学校入学
- 1961年 3月 同校卒業
- 1963年 4月 東洋大学経済学部入学
- 1967年 3月 同校卒業
- 1967年 4月 明治大学大学院政治経済学研究科修士課程入学
- 1969年 3月 同大学院修了（経済学修士）
- 1970年 4月 駒澤大学大学院経済学研究科博士課程入学
- 1973年 3月 同大学院博士課程満期退学
- 1971年 4月 創価大学経済学部助手
- 1976年 4月 創価大学通信教育部インストラクター
- 1981年 4月 同専任講師
- 1984年 4月 同助教授
- 1991年 4月 同教授
- 2013年 3月 創価大学退職

受 賞

- 1986年 5月20日 東洋哲学文化賞（東洋哲学研究所）
- 1999年12月 9日 創価大学荣誉賞（創価大学）
- 2013年 3月21日 名誉教授（創価大学）

著作目録

著 書

- [1] 石野典編『テキスト経済学』世界書院、1988年4月、第9章「貨幣と金融システム」執筆
- [2] 『金融論：現代金融の理論と構造』創価大学出版会、1991年7月
- [3] 『日本の金融システムと金融構造』近代文芸社、1993年8月
- [4] 『経済学概論』創価大学出版会、1995年4月
- [5] 『経済原論：市場メカニズムと財政・金融政策の効果』創価大学出版会、2002年2月
- [6] 創価大学通信教育部学会編『創立者池田大作先生の思想と哲学』（第1巻）2005年5月、第10章「地球環境問題と依正不二の原理」執筆

論文

- [1] 「金融政策における目標と指標」『創価経済論集』5（1）1975年6月
- [2] 「貨幣の伝達機構と金融政策の有効性」『創価経済論集』5（3・4）1976年3月
- [3] 「アメリカにおける資本市場の特質と構造—1960年～1973年を中心として」『創価経済論集』8（2）1978年9月
- [4] 「アメリカの社債市場の構造と発展—1960年～1974年を中心として」『創価経済論集』9（2）1979年9月
- [5] 「アメリカの貯蓄機関の発展と抵当貸付市場—1960年～1975年を中心にして」『創価経済論集』10（1）1980年6月
- [6] 「アメリカ商業銀行の商工業貸出と企業の長期資金需要」『創価大学経済学部10周年記念論文集』（創価大学経済学会）1981年3月
- [7] 「企業における投資行動と貸付資金の需要」『創価経済論集』12（1）1982年6月
- [8] 「企業の短期債務需要と資金のコスト」『創価経済論集』13（3）1983年12月
- [9] 「金融仲介機関の役割と変成機能」『創価経済論集』15（1）1985年6月
- [10] 「金融市場の一般均衡的アプローチとわが国の市場構造」16（3）1986年12月
- [11] 「資金循環の金融需給構造」17（4）1988年3月
- [12] 「わが国の金融市場の構造的特徴とその機能」『創価経済論集』18（3）1988年12月
- [13] 「わが国の国民資産の構成と金融連関比率—1970～1987年を中心として—」『創価経済論集』19（3）1989年12月
- [14] 「金融国際化の進展とわが国の金融構造」『創価経済論集』19（4）1990年6月
- [15] 「わが国の家計貯蓄率と金融資産蓄積」『創価経済論集』20（1）1990年9月
- [16] 「個人貯蓄率と貯蓄の動機」『創価大学創立20周年記念論文集』（創価大学）1990年11月
- [17] 「企業部門の金融行動とわが国の金融構造」『創価大学経済学部20周年記念論文集』（創価大学経済学会）1991年3月
- [18] 「わが国における短期金融市場の進展と短期市場金利の機能—1980年代の市場構造を中心として—」『創価経済論集』21（2）1992年3月
- [19] 「わが国の短期市場金利の構造と決定メカニズム—1980年代の市場構造を中心として—」『創価経済論集』22（2・3）1993年3月
- [20] 「金融政策の中間目標と政策運営」『創価経済論集』23（2）1993年9月
- [21] 「金融政策の波及経路とわが国の政策運営」『創価経済論集』24（2）1994年9月
- [22] 「開放経済下の金融政策運営と国際政策協調」『創価大学創立25周年記念論文集』（創価大学）1995年12月
- [23] 「金融政策の手段とわが国の政策運営」『創価経済論集』24（4）1995年12月
- [24] 「日本銀行における金融政策の運営とクレジット・パラダイム」『創価経済論

- 集』25 (1・2・3・4) 1996年11月
- [25] 「1980年代後半の資産価格変動と金融政策の運営」『創価経済論集』26 (3・4) 1997年6月
 - [26] 「合理的期待形成と金融政策の有効性」『創価経済論集』28 (1) 1999年3月
 - [27] 「日本のマクロ経済における株価の動向—1980年代後半以降の株価急騰現象について—」『創価大学通信教育部論集』第2号 1999年8月
 - [28] 「わが国のマクロ経済における株価・地価—資産価格の高騰期 (1985-90年) を中心として—」『創価経済論集』28 (2・3・4) 1999年12月
 - [29] 「バブル経済崩壊後の景気の変動とその主要因」『創価大学経済学部30周年記念論文集』(創価大学経済学会) 2001年3月
 - [30] 「デフレ経済における財政・金融政策の効果—流動性トラップと期待の役割—」『創価大学通信教育部論集』第5号 2002年8月
 - [31] 「長期的デフレ経済下における財政政策の対応」『創価経済論集』32 (1・2・3・4) 2003年3月
 - [32] 「1990年代におけるわが国の失業率と雇用者行動」『創価経済論集』33 (3・4) 2004年3月
 - [33] 「失業率の上昇と所得分配の変化—雇用環境の変化は何を物語るか—」『創価大学通信教育部論集』第7号 2004年8月
 - [34] 「1990年代以降のわが国の財政運営と日本経済—景気対策としての財政政策はどのように行われたか—」『創価経済論集』36 (1・2) 2006年8月
 - [35] 「わが国の財政支出と公共投資の効果—1990年代の財政政策は有効であったか—」『創価大学通信教育部論集』第9号 2006年8月
 - [36] 「アメリカの金融危機と世界同時不況—グローバル経済における金融の暴走—」『創価大学通信教育部論集』第12号 2009年8月

研究ノート・その他

- [1] 「ヒックスの経済学における主観的な価値の理論」『創価経済論集』2 (2) 1972年9月
- [2] 「アメリカと日本における金融政策の異同」『創価経済論集』4 (2) 1974年12月
- [3] 「ニューマネタリズムの貨幣に関する一考察」『創価経済論集』4 (3) 1975年2月
- [4] 「企業における投資資金の調達と負債比率」『創価経済論集』12 (4) 1983年3月
- [5] (書評) Paul F. Smith, *Money and Financial Intermediation: The Theory and Structure of Financial Systems* Prentice-Hall 1978 Pp.363 『創価経済論集』11 (4) 1982年3月